

第5回 首都圏広域地方計画有識者懇談会／議事要旨

日 時：平成20年11月20日（木） 15：00～17：00

場 所：KKRホテル東京10階 「瑞宝」

出席者：家田座長 ほか 計 18 名

議事

- (1) 首都圏広域地方計画中間整理等について
- (2) 意見交換

討議内容

(委員)

- ・当市は、その水源を地下水と利根川に依存しており、それらの汚染が深刻な問題。上下水道の敷設のための財源を単一自治体で賄うことは難しく、今後はこの広域的運用が必要。そのための国の役割は大きい。

(委員)

- ・1章2節(6)の「地域の特性を踏まえたきめ細やかな対応」は分かりにくい。ストレートに「地域間格差への対応」と書けないのか。
- ・2章2節だけでなく、風水害プロジェクトでも、「温暖化への適応策」を記載すべき。
- ・森林の整備が自然保水力の向上に繋がるかは、科学的根拠は曖昧。材木の流出や土砂崩れを防止できるという意味で、「災害源の抑制」という整理にすべき。
- ・おいしい水プロジェクトで、取水口と排水口の配置の見直しについての記述を入れるべき。
- ・水と緑ネットワークプロジェクトで、親水空間の整備と水質改善とが一体化した施策を打ち出すべき。例えば、「泳げる川」という概念設定はどうか。
- ・泳げる東京湾プロジェクトで、雨水時における合流式下水道からの越流（通称「CSO」）に対する対応を記述すべき。
- ・循環型社会プロジェクトで、キャンペーンや、建設残土のリサイクルなど整備局が関与できる施策だけでなく、再利用・再生利用を可能とする物流システムの整備などについても記載すべき。
- ・地域間交流により、農山漁村を振興するには、都会のライフスタイルを変えることが必要で、何かアイデア出しができないのか。

(委員)

- ・大規模地震対策プロジェクトで、小さな津波でもゼロメートル地帯が浸水してしまうことを意識した書き方にすべきで、「港湾の耐震化」だけでは少し弱い。風水害プロジェクトでの高潮対策の記載ぶりと比較すると、いかにもバランスが悪い。
- ・地球温暖化対策プロジェクトで、地域冷暖房システムは、東京湾再生と逆行する概念であり、全面に出してPRする内容ではない。
- ・泳げる東京湾プロジェクトで、「泳げる」が一般受けするフレーズか、よくよく考えるべき。また、CSOの問題だけでなく、貧酸素化とそれに伴う生態系悪化について記載すべき。

(委員)

- ・おいしい水プロジェクトで、平野部の雨水を有効するなどの水循環の健全化を記載すべき。
- ・風水害プロジェクトで、ハザードマップにしる水防体制にしる、「つくる」だけでなく、如何に運用するか

を強調した記述にすべき。

- ・循環型社会プロジェクトで、最終処分場の確保と併せて、迷惑を受け入れる側の地域の保全について、記載すべき。

(委員)

- ・森林・農地保全プロジェクトで、国土保全上の観点から中山間地の保全が重要であることを記載すべき。
- ・農水省や厚労省など他の省庁と十分に連携をとって、プロジェクトを推進してもらいたい。
- ・顔づくりプロジェクトで、富士山は「顔」には該当しないのか、視覚でわかることがよい。

(委員)

- ・地球温暖化対策プロジェクト等で、日本の優れた技術を使って、世界をリードしていくために、大学発のベンチャーの技術力を結集させた先進的な集合体を関東エリアに作れないか。「バイオマスタウン」だけでは受け身的。
- ・首都圏の空港の総合的な使われ方を考えるべき。成田、羽田、茨城を一体化した構想を本計画で描けないか。

(委員)

- ・観光や二地域居住を促進するために必要となる、ワークライフバランスの実現を、計画に位置づけるべき。

(委員)

- ・行政課題を整理した上で、国・行政・住民の役割分担を明確にし、誰がいつまでに何をやるのか、明確にすべき。

(委員)

- ・10年後の評価のためにも、本計画の推進によって10年後何が残るのかをきちんと示すべき。
- ・3章5節は、人材が大きく関わるべきプロジェクトであり、啓発や人材育成についても記載すべき。

(委員)

- ・イノベーションプロジェクトで、情報・バイオというように垣根を作らない方がよい。垣根を越えてイノベーションは創出される。
- ・場所が特定されたプロジェクトとそうでないプロジェクトがあるが、整理を変える必要はないか。

(委員)

- ・かつての新興住宅地では、放置された空き家が地域全体の資産価値を下げ、ゴーストタウン化に繋がる。地域の空き地を住民に再配分するある種の区画整理の仕組みなど、行政で青写真を描けないか。

(委員)

- ・少子高齢化プロジェクトで、ここで示された公的賃貸住宅と福祉施設との一体的整備のイメージは、老人を一居住区に押し込む、姥捨て山のような印象を持たれてしまう可能性もある。絵図は時に誤った固定的観念を植え付けてしまうので、工夫をされるとよいと思う。また都会ではそれでもよいが、郊外では別のイメージがあると思う。例えば一戸建ての家から道路がでて、福祉・医療施設に繋がり、その道が介護予防に使えるようなイメージも必要ではないか。
- ・「最期を迎えるときに、ここで住んでよかったと思える」まちづくりがあってもよいのではないか。

(委員)

- ・中古住宅市場の活性化のために必要となる住宅の長寿命化の視点を記載すべき。
- ・農産漁村プロジェクトで、林業の強化のため、国産材住宅の普及とその背景にある住民の意識改革を関連づけて記載すべき。

(委員)

- ・本省の国土計画推進研究会で議論されていることが記載されていない。「おいしい水」や「きれいな水辺」

も結構だが、肝心のニュータウン問題に焦点が当たっていないのは不思議ですらある。全総以来の業務核都市構想も全く触れられていない。

- ・ダム底に堆積する土砂の浚渫、既存ダムの嵩上げによる発電能力の強化などを記載すべき。
- ・環境に重点を置くのもいいが、もう少し「国土形成」らしい計画にすべき。イノベーションプロジェクトもこれでは、みずぼらしい感じがする。

(委員)

- ・空港の容量拡大のため、空域・航空路を含めた既存ストックの活用が重要というメッセージを記載するべきであろう。地方も一緒にやらなければ十分な国際化は困難なことが、メッセージににじみ出ていくことは重要である。
- ・プロジェクトを今後どのように実行していくかについては、p49に概略が記載されているが、これを4章で改めてより具体的に書くべきではないか。また、本計画のプロジェクトとしてアピール出来るものは、協議会など推進体制を早々に固めておくことが必要であろう。
- ・水と緑のネットワークを広域的に展開するというのは広域計画らしい良いプロジェクトと評価できる。今後は、緑道や小河川といった詳細ネットワークにも配慮して、市町村を含む自治体が協力してプロジェクトを推進することが大切。

(委員)

- ・経済産業省の新経済成長戦略や国交省の物流施策大綱のうち、地域横断的な共通項目と、首都圏特有の項目として打ち出すべきものを、メリハリをつけて階層化すべき。
- ・経済産業省の「新経済成長戦略」の主要骨子の一つである「イノベーション」なども十分に考慮し、各種研究機関が集積している首都圏だからこそ、温暖化対策や港湾から空港のセキュリティ確保のためのイノベーションを、産官学協働で創出し、さらに米国、EUなど海外に発信していくという視点を盛り込むべき。
- ・「選択と集中」に加え、戦略ターゲットの設定即ちマイルストーンの設定、及びPDCAの評価メカニズムを検討すべき。

(委員)

- ・ゲートウェイプロジェクトで、関東の物を新潟にどう運ぶか考えるべき。トヨタは名古屋から盛岡まで専用のコンテナ鉄道を使っている。民間の動向も踏まえた計画にしなければいけない。
- ・イノベーションを支援する様々な機関を一括して、新機関を作ろうとしており、その記載を追加すべき。

(座長)

- ・行政がやるべきこと、民間がやるべきこと、新たな公がやるべきことを整理すべき。
- ・イノベーションで言えば、官庁の施策ばかり記載しているが、民力を官庁と同じ方向に持って行こうというニュアンスを出さなければいけない。
- ・全体的に関東の特徴が出た記述にすべきで、何地方の計画かすら分からないプロジェクトが多い。温暖化対策で言えば、研究機関の集積、鉄道利用といった特徴があるはず。ワークライフバランスにしても、最も悪い関東でこそ、進んで言及すべき。
- ・富士箱根伊豆プロジェクトは唐突。伊豆が入っていて尾瀬の横にある東照宮が入っていないなど、どうしてこれがはいついてあれがはいついていないのか、説得力のある整理をすべき。
- ・顔づくりプロジェクトは、誰に対するメッセージなのか、観光客か、国民か。東京都美術館があつて、東京国立博物館はないなど、言葉だけ「顔」と言っていて、十分な議論がなされていないのではないか。
- ・イノベーションプロジェクトは殆ど何も言っていない。エリアが括つてあるだけで、如何なものかと思う。
- ・五街道ばかりでなく、風景の街道や文化の街道、街道沿いにある歴史的街並みなどをネットワークとして繋いでいくというのは意味がある。それらをマップ上に落としていくと説得力がでる。

- ・ゲートウェイプロジェクトで、太平洋側と日本海側が繋がっている事実をもっと意識すべき。日本海側への唯一の軸線である関越が雪や霧で頻繁に止まる。
- ・各空港のキャッチメントエリアをどう設定し、そのために必要な陸上交通網は何かという論立てをすべき。
- ・人口減少社会における土地利用の積極的誘導について、長期的展望にたって、方向性だけでも記載すべき。

以上